

## テーマ別研究会「自閉スペクトラム症（ASD）への発達論的アプローチ研究会」

### 2024年度総会報告

2024年5月13日

日時： 2024年5月12日（日）17:00～19:00

場所： Zoom

参加者：出席 8名 議長議決委任 24名 計32名

#### 審議事項

1. 2023年度活動報告
2. 2024年度活動計画
3. その他：役員構成の確認

1. 2023年度の主な活動は以下の通りであり、承認された。

①総会および2回の役員会を開催した。

②ふれあいペアレントプログラム推進研究会への協力

・全国資格更新研修会を開催した。

日時 第1回目（オンデマンド）：2024年2月3日～11日

第2回目（ライブ配信）：2024年2月17日（土）

第3回目（ライブ配信）：2023年2月18日（日）

テーマ ふれあいペアレントプログラムの指導者養成講座

会場 オンライン

講師 尾崎 康子

参加者数 26人

参加費 20,000円

コーディネーター 西山剛司

・就学前児の保護者のためのプログラムの検討

（ふれあいプログラム推進研究会は新テーマ別研究会として独立する予定）。

③日本臨床発達心理士会全国大会でのシンポジウムを実施した。

日時 2023年8月26日（土）～27日（日）Web

テーマ 「高機能発達障害の青年・成人への支援」

司会 東都 ガーボル

話題提供 黒田 美保、横井 英樹（昭和大学医学部附属烏山病院）

指定討論 近藤 清美・三宅 篤子

④日本発達心理学会（大阪国際交流センター）において交流会を実施した。非会員の参加もあり、研究会に高い関心を寄せられ、研究会にお誘いすることとした。（報告はHPにアップあり）

2. 2024年度の主な活動計画は以下の通りであり、承認された。

#### ① 研究会の方針

研究会会員を中心に自閉症児への発達論的支援についてのエビデンスのある臨床実施に向けて様々な情報発信、及び会員の相互交流を行う。

#### ② 会員による情報発信

- ・臨床発達心理士の広報委員会に協力し、自閉スペクトラム症のアセスメントと療育に関する紹介ビデオを作成する。会員から参加・協力者を募る。
- ・全国資格更新研修会を実施する。

方針：尾崎・三宅編著「発達障害の療育」（ミネルヴァ書房）の第2章「ASDの療育」の内容に新たな知見や最新情報を追加して再構成する。講師は、基本的にその項目の執筆担当者。

日程：おおよそ全6回のシリーズ、おおよそ2～3年にわたって順次開催する。

#### ③ 会員の相互交流

- ・日本臨床発達心理士会全国大会において交流会を実施する（2024年8月25日（日））
- ・オンラインを活用した実践報告会を試みる
- ・士会HP上のテーマ別研究会ページを活用する。
- ・メルマガを活用する。
- ・会員の名簿を作成（アンケートを5月に配信）し、MLを活用する。
- ・新会員を募集する。

#### ④ 学術研究の促進

- ・2025年3月開催の発達心理学会にて自主シンポジウムを企画する。詳細未定。
- ・日本臨床発達心理士会全国大会での実践セミナーA

日時 2024年8月24日(土)～25日(日)

テーマ 「自閉スペクトラム症（ASD）支援の最前線」

司会 堀内ゆかり

企画 「自閉スペクトラム症（ASD）への発達論的アプローチ研究会」

話題提供 金澤潤一郎（北海道医療大学准教授）「ASDの関連する就労の状況と問題点」

木下智美（佐世保市立浅子小中学校校長）「インクルーシブ教育におけるASD支援」

尾崎康子（東京経営短期大学教授）「幼児期におけるASDの親支援」

指定討論 大島郁葉（千葉大学教授）

#### ⑤ 国際交流

諸外国のASD支援の実情を紹介いただく研修会の準備を行う。

#### ⑥ 予算

会員向け研修会を実施する。講師料、交通費、会場費、資料代等で10万円申請済み

### 3. 役員構成

代表：堀内 ゆかり（九州産業大学）

副代表：三宅 篤子（東京特別支援教育心理研究センター）

事務局長：東都 ガーボル（相模女子大学）（ML 担当）

役員：黒田 美保（田園調布学園大学）

西山 剛司（SCERTS 研究会）

尾崎 康子（東京経営短期大学）

近藤 清美（帝京大学）

東 敦子（のぞみ学園かめあり）

事務局: 〒145-0071 大田区田園調布 2 - 3 - 1 1 自由が丘こころの発達研究所 LIBO

事務局メールアドレス hattatuasd@gmail.com